

四日市アルコールと健康を考えるネットワーク事業【三重県四日市市】

(実施主体) ネットワーク事務局
(実施期間) 平成 23 年度～24 年度

(基金事業メニュー) 普及啓発事業
(実績額) 平成 23 年度 822 千円

【事業の背景・必要性・目的】

四日市地域においては、平成 20 年度より市立四日市病院、三重県立総合医療センター、四日市社会保険病院とアルコール専門医療機関が地域連携による講演会を開催していた。平成 21 年度からは、自殺対策への取組み・救急医療現場でのアルコール問題、高齢者や職域でのアルコール問題など多岐にわたる課題に対して医療・保健・福祉にまたがる対応を検討していくために、四日市市保健所・四日市市消防本部・四日市医師会・地域包括支援センター、産業保健関係者等が参画し、ネットワークを構成している。

本ネットワークの活動は、アルコールが関与する臓器障害および関連する諸問題に対し、四日市地域の医療機関や職域及び地域関係機関の連携のもとに、これらの領域に関する研究・情報交換を推進し、問題の共有と啓発等その他の成果の普及に貢献し、社会全体の認知を向上し、地域が一丸となって対策を講じていくことを目的としている。

【事業の内容】

- ・ アルコール依存症チェックリストと近隣相談窓口案内の作成及び配布
- ・ 啓発ポスターの作成及び配布
- ・ 啓発パンフレットの作成及び配布（医療関係者向け・患者家族向け・一般市民向け・高齢者向け）
- ・ 日本アルコール精神医学会版介入パンフレットの関係機関への配布
- ・ 一般向け講演会
 - ① 平成 23 年 5 月 19 日「女性とアルコール」 産婦人科医
「アルコールと家族の苦悩」 アルコール専門医
 - ② 平成 23 年 11 月 6 日「飲酒と発がん」 アルコール専門医
「アルコール依存症を克服した体験者の話」 当事者発表
「アルコール医療の現状と方向性」 アルコール専門医
- ・ 専門家（医師・コメディカルスタッフ等）向け講演会
 - ① 平成 23 年 7 月 7 日「臨床現場で役立つ飲酒患者の節酒・断酒・生活指導法」 アルコール専門医
 - ② 平成 24 年 2 月 28 日「救急医療とアルコールシンポジウム」 救急医・救急看護師、アルコール専門医・保健所・社会福祉事務所・消防本部・警察
- ・ 雑誌寄稿 Be! vol. 102～104「救急現場の崩壊を食い止めろ！」ネットワークの取組連載

〔事業実施に当たっての運営体制等〕

市立四日市病院の地域連携室が中心となり、事務局会議には三重県立総合医療センター・四日市社会保険病院・四日市市保健所・かすみがうらクリニック（アルコール専門外来）・四日市医師会が参加している。事務局会議で検討を重ね、実施事業の企画をしている。

研修会・講演会の開催にあたっては、事務局一同が協力して、運営を担う。

〔事業の成果、工夫をした点、その他特筆すべき点〕

救急医療とアルコールについてのシンポジウムの開催にあたっては、救急医・救急看護師、アルコール専門医・保健所・社会福祉事務所・消防本部・警察のそれぞれの立場からの現状と課題が話され、四日市におけるアルコールに関する関係機関が一堂に会し、意識の共有化が図れた。課題の解決に向けて顔の見えるネットワークの構築がなされ、対応マニュアルの作成など今後の取組みに一層の期待が高まっている。ネットワークの取組みにおいては、地元放送局やケーブルテレビ・新聞社への広報活動も積極的に取り組み、いずれかのメディアを通じて毎回地域に最新情報を発信してもらうよう工夫している。

ネットワークが主体となって、事業の企画運営を実施していることから、行政のみでは発想し得ないアイデアが生まれ、実行されることがある。ネットワーク企画の医師会員向けの研修会の案内配布の際には、節酒指導ツールとともに研修会の案内配布を製薬会社のプロパーが担い、四日市医師会員のほとんどに直接手渡しし、研修会の開催趣旨の説明が可能となった。

四日市市の自殺者数の推移としては、平成 21 年 76 人⇒平成 22 年 44 人（人口動態統計）と減少しており、アルコールと健康を考えるネットワークの取組みを含む四日市における複合的な取組みが、自殺者数の減少に一定の寄与をした可能性があると考えられる。



(問合せ先) 四日市市保健所 保健予防課 精神保健係
 TEL:059-352-0596
 E-mail:hokenyobou@city.yokkaichi.mie.jp